

地域の子どもたちのために、 廃材を加工したジャンプボードを寄贈いただきます

5月31日(水) 午前10時～10時30分 笠間市立岩間第二小学校(笠間市押辺530)

【概要】

岩間第二小学校でジャンピングボードの寄贈式を行います。全校集会形式で、全職員と児童が感謝の気持ちを伝えます。



試し跳びの様子



校長室にて

【日程】 5月31日(水)10時10分集会①挨拶②試し跳び③写真撮影 10時30分解散

【経緯】

- 近隣の企業(日東電気株式会社・茨城町)が、廃材を活用してなわ跳び用のジャンプボードを作成しました。
- 上記企業では今まで、廃材を処分していましたが、SDGsの観点から、ゼロエミッション化を進めてきた結果、今回の製品開発につながったそうです。今後、試行錯誤を重ね、改良していくとのことです。
- 開発の中心は女性社員と外国人社員。開発を支援してきた、管理職の持丸洋一氏(元同校PT A本部役員、現笠間市青少年相談員)が、お世話になった母校への寄贈を希望されました。
- 岩間第二小学校としても、「児童の体力向上」が喫緊の課題であったため、今回のご好意を受けることにしました。
- 5月17日に試作品で試し跳びをした結果、次のような利点があることがわかりました。
 - 耐久性: 従来品は、木製の板で手作りしていた。数年で劣化してしまうがプラスチックなら劣化が極端に少ない。
 - 利便性: 従来品は20kgほどあり、大人2～4名で持ち運びしていた。これからは大人1名で運べるようになる。
 - 安全性: 木製のため、ささくれが刺さったり、鉄製のボルト部分が当たったりする可能性があったが、今回の製品はそのようなことがない。
- ジャンプボードは1人用で、強化プラスチックでできており、縦約100cm、横約75cmで、アーチ状をしています。試し跳びに協力した児童も「跳びやすい」「もっと跳びたい」と汗だくになって跳んでいました。
- 5月31日の寄贈式に向けて、子どもたちは、感謝の気持ちを伝えられるよう準備中です。

この件に関するお問い合わせ

岩間第二小学校 教頭 住谷 TEL.0299-45-2169

笠間市教育委員会 生涯学習課 郡司 TEL.0296-77-1101(内線384)